



# 空はコバルト

No. 5

題字：3年女子

コバルトとは・・・深く澄んだ青色のこと。空や海を表現する際に使われる色とされる。

(文責 教頭)

## 2学期スタート～銀河祭までの登校日数はあと5日！

長かった夏休みが終わり半月、気がつけば第58回銀河祭まで登校日数もあと5日となりました。先週から各学年では合唱コンクールに向けた中間発表会が行われ、各学級の練習の成果を発表し合い、刺激を受けることで、本番に向けてさらにより良いものを目指すきっかけとなりました。また、意見文、各作品等の普段の学習の成果や体育祭、文化部発表、開閉祭式等に向けた準備も佳境を迎えています。過日の通知でもお知らせしたように、今年度は今のところ入場制限の予定はありませんので、全校生徒が一丸となって創り上げるこれまでの「学びの成果」を是非ご覧ください。皆様の来校をお待ちしております。

### ①2学期始業式・堀籠 英和校長先生による校長講話 8/27(火)

1か月間の夏休みがおわりました。

皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？

私は、パリで行われたオリンピックや甲子園で行われた高校野球をテレビで観戦しました。それぞれの選手が自分の目標に向かって、これまで努力してきた成果や自信をもって、試合に取り組んでいる姿、自分のために、そして、仲間のために、精一杯頑張っている姿がとても感動的でした。すべての選手にそれぞれのドラマがあり、その話を聞いたときにまた、熱いものを感じました。すべての選手が口にした言葉に「感謝」そして、「挑戦」という言葉がありました。皆さんは、どのように感じましたか？



落ち着いた雰囲気の中での校長講話

さて、本日より2学期がスタートします。

2学期は、登校日数で81日という1学期よりもちょっと長い期間となります。その中で、自分の夢や希望に向かって、日々の活動を進めてほしいと思います。9月26日、27日に生徒会最大の行事である「銀河祭」が行われます。ちょうど1ヶ月後となります。生徒会役員の皆さんは、夏休み中も学校に来て、準備を進めていました。素晴らしい「銀河祭」となるよう全校の皆さんでこの1ヶ月頑張してほしいと思います。自分はどんな協力、取り組みができるかよく考えて行動してほしいと思います。

また、この2学期は、3年生は自分の進路実現に向けて、次のステップへ向けての最終の準備期間となります。2年生は、部活動や生徒会への引き継ぎを迎え、学校のリーダーとなる準備をする期間となります。1年生は、来年度入学してくる新1年生の先輩となるための準備期間となります。そして、全校では学校目標である「信頼される人になる」を一人一人が心して、この2学期の長丁場を安心安全に過ごしてほしいと思います。

最後に新たな学期が始まるにあたり、3つのことを大切にしてほしいと思います。私たちの学びや成長、そして命を大切にすることについてお話いたします。

1つ目は、学習への取り組みです。「学びの充実」についてです。学校での授業や学

習は単なる知識の吸収だけではありません。自分から「問い」を持つ、自ら課題を追究することが大切です。自らの問いを大切にしておこなうことにチャレンジし、積極的に学ぶ姿勢を持ちましょう。興味や関心を持ったテーマについては自主的に調べ学ぶことで、より深い理解を得ることができるでしょう。

2つ目に「挑戦 自分を成長させる」ことです。新しい学期は、自己成長のチャンスです。自分をより良い方向に成長させる機会となるでしょう。自分の強みを活かし、弱点を克服するために努力しましょう。目標を立て、一歩ずつ前進することで、自分自身を成長させることができます。夢は無敵大、自分の内に秘められた可能性を引きだし、色々なことに挑戦してほしいと思います。

そして、3つ目に「命を大切にすること」を心に留めてください。命は何よりも尊いものです。私たちはお互いに思いやりを持ち、助け合うことで、学校内で安全で快適な環境を作り上げることが大切です。危険な行為やイジメ、暴力などは決してあってはならないことです。他者の立場になって、一時立ち止まって自分の頭で考え、判断する力を大切にしたい。そして、思いやりの心を大切にしたいと願っています。人を傷つけることは、自分自身を傷つけることとなります。命の尊さを理解し、自分自身にも他者にも思いやりのある言動を大切にしたいと願っています。

2学期のスタートです。8月1日後に白中生徒一人一人にとって、「よかったと思える2学期」充実した学校生活となるようともに頑張りましょう！。最後に、挑戦！「あらたなる未来へ！」

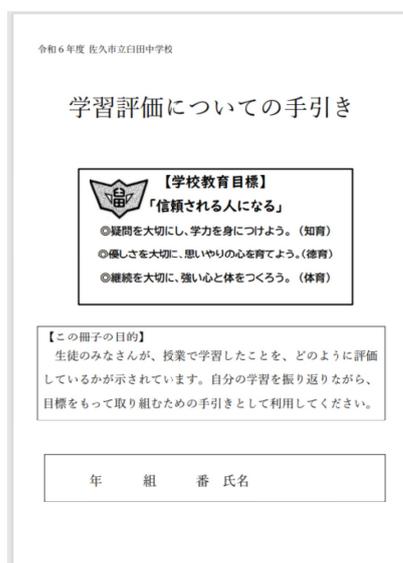
## ② 学習評価に関わる学習オリエンテーション 8/27(火)

2学期のスタートにあたり、8月27日の授業開始前の時間を利用して、学習オリエンテーションを実施しました。2学期は3年生にとっては、進路の準備が本格化し、希望する進路実現に向けて、これまでの学習の成果が問われる学期となります。また、1・2年生にとっては、今後の進路選択に向けて、1学期の反省を踏まえ各教科での目標や課題をより明確にすることが力を伸ばすことにつながります。校長先生がいつも言われる新たな自分に向けた「挑戦！」のきっかけにしてほしいと願い、今回、手引きの冊子を新たに作り、研究主任や各教科主任の先生方より学習評価（評価内容、評価場面、願う姿）に関しての説明をしていただきました。

中学校は自分なりの将来の方向性に合った進路を選択し、近い将来に社会で自立していくために必要な学力を身につける場所です。つまり、将来働いて自立するために必要な知識・技能・能力を身につける場所であり、中学校での学びが、将来社会で働いたり、生活したりするための土台となっていきます。中学校の学びは、まさに自分の将来の可能性を広げるためにあるといえます。

さらに、もっと言えば、学びは中学、高校、大学等の学校を出て以降も生涯続くものです。一人ひとりが自分の「好き」「楽しい」「なぜ」に浸り、追求したり、自ら課題や問いを見いだし、その解決を目指して仲間と協働しながら新たな価値を生み出したりする「探究」の経験は、新しい知識が次々と登場する変化の激しい現代だからこそ、生涯続くものといえます。

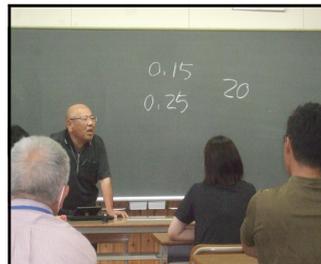
学校の学びの中で、探究する楽しさ、ワクワク感を実感できるようにするためのヒントがこの手引きにあります。全校生徒に配布済みですので、保護者の皆様にもご覧になっていただくとありがたいです。※オクレンジャーでも改めて送付します。



裏面あり

### ③職員研修で非違行為防止研修を実施しました。

本校では、毎月の職員会の中で非違行為防止に向けた研修を実施していますが、夏休み中の研修の一環で、佐久警察署生活安全部の田中隆幸スクールサポーターをお招きし、飲酒・酒気帯び運転等の交通違反、体罰、性暴力等の非違行為防止に向けた研修を実施しました。様々なケースを見てきた田中さんよりか、実体験に基づいたお話をお聞きすることで、職員一同、本校からは絶対に非違行為は出さないという誓いを新たにすることができました。昨今、学校での様々な不祥事が報道されていますが、本校では不祥事の根絶に向けて、生徒や保護者、地域の皆さんの信頼を決して裏切らないように、また、自分や家族の生活を守るために、こうした研修を今後も積み重ねていきます。



田中秀幸スクールサポーターのお話

### ④小・中合同の職員研修が佐久市民新聞で紹介されました。

新しい臼田小学校が開校して2年目を迎え、今後、臼田小・中学校で連携を強化し、足並みを揃えた教育を実践していくために、小中合同の職員研修が夏休み期間の7月30日に行われ、その様子が佐久市民新聞で紹介されました(裏面掲載)。

テーマは「見つけよう！臼田の不思議発見」。小中の教員がグループに分かれて、実際に臼田商店街を歩き、子どもの立場に立って「問い」を見つける初めての企画です。今、各校では、「どうして」「なぜ」と自ら「問い」を見いだし、他者と協働しながら問題解決を繰り返す「探究的な学び」が教育課程の中核となる学びの転換期を迎えています。

今後より一層、小中学校で職員や児童生徒の交流を活発にすることで、小中9年間を見通した一貫性のある指導・支援体制を構築することを目指していきます。

### R6フラワーブラボーコンクール中央審査推薦校選出！



今年も見事な花が咲き、素敵な花壇となりました！

### 【学校からの連絡】

#### ①欠席した場合の翌日の予定の連絡方法について

○ 欠席した場合の翌日の予定の連絡については、以下のように行いますのでご承知おきください。

- ・翌日の予定の連絡はオクレンジャーで行う。
- ・配布物については、必要に応じて職員が個別に対応する。
- ・近くの生徒に届けてもらうことはしない。

#### ②9月28日(土)ホリデー自習室について

・あいとびあ臼田にて13:00～17:00で学習室を設けます。途中参加、途中退室も自由です。中間テスト直前なので、思い切って学習環境を整える意味でも、是非利用してみてください。一人になって黙々と集中できます。数学を質問できるボランティアの方もいます。3年生だけでなく、1・2年生も是非一度様子を見に来てください。

臼田中学校(教頭) 篠原 利之

電話 0267-82-2139

FAX 0267-82-2217

# 若鳥の蒸し焼き何で「むしり」？ 商店街で「問い」を発見

白田小学校（井出誠一校長）と白田中学校（堀籠英和校長）の教員が学校の夏休み期間を利用して合同で研修会を開いた。テーマは「見つけよう！白田のふしぎ発見」。教員が実際に白田商店街を歩き、子どもの立場に立って「問い」を見つける初めての企画だ。

新しい白田小学校が開校して2年目を迎えることから、「今後より一層、小中学校が足並みをそろえて、白田地区の子どもを共に育

てることが大切」との思いも込めた試み。研修会では、「子どもたち」の学びは「問い」から始まる」との観点から、43人の教員が10班に分かれて実際に白田商店街を歩き、子どもの目線になって疑問や発見を探した。

白田の名物の「むしり」に着目した班は、むしりを提供している▽鳥忠食堂▽瀬川▽みよしやの3店舗を訪問。「みんな元祖が元祖なのか」「そもそも何で、むしりという名前なのか」という問いを立てた。また、弥勒寺を巡った班は「首のないお地藏さんがあって怖かった」「どんな御利益があるの？」。さらに、「道沿いの大きな家はだいたい井出さんち」とのユニークな気付きがあった班も。

## 白田中と白田小 先生が合同研修



両校の先生たちが商店街を歩いて見つけた「問い」や感想について班ごとに出し合った



中庭花壇をドローン撮影  
見事なデザインです。



1年男子撮影



屋根の上から